特別の教科　道徳教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

１　調査研究経過

〇第１回　　６月２１日（木）（16:00～　）
・研究内容、研究方法、研究日程等計画立案

〇第２回　　７月１０日（火）（16:30～　）
・「適当と認められる教科用図書３社」と
「その他の教科用図書」の選定

〇第３回　　７月１８日（水）（15:30～　）
・「適当と認められる教科用図書」についての報告書「別紙１」と
「その他の教科用図書」についての「別紙２」の検討と確認

〇第４回　　７月２３日（月）（16:30～　）
・「適当と認められる教科用図書」についての最終確認

２　採択に向けた選定について調査研究員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙１のとおりですので、所見を記載して報告します。

３　その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙２のとおり報告します。

別　紙　１

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名
２　東書	道徳　７２１ ８２１ ９２１	新しい道徳

○総合所見

□教材ごとに、考え議論する学習が展開できるよう配慮されている。

道徳的諸価値についての理解を基に、多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習が展開できるよう配慮されている。また、漫画を使用した導入や役割演技など、様々な学習方法が提示されており、それらの学習方法を通して、道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度を育むことができるよう配慮されている。

□生徒が主体的に取り組むことができるよう配慮されている。

付録には、読み物教材のほかに、郷土を学習する資料や切り取り式の評価用紙、学習材などが用意され、本編を学習する際に、さらに多様な学習が展開できるよう工夫されている。

○具体的所見

1　教科の目標からの配慮

（１）全学年を通じて、今日的な課題に向き合う教材が適切に配置されており、生徒が自ら問題を見つけたり、考えたりできるように配慮されている。

（２）様々な分野で活躍する人の紹介により、進路や生き方を考える上で参考にできるよう配慮されている。また、各都道府県の人物や伝統・文化、技術や産業なども紹介されているので、郷土について学ぶ際に活用できる。

2　生徒の学習活動への配慮

（１）導入で主題に関する投げかけがされていることで、生徒が問題を見つけたり把握したりできるようになっている。その後、教材を読んで、「考えてみよう」で議論し、問題を解決するという学習の流れが作られている。

（２）学年の冒頭で、オリエンテーションを使って、生徒が学習の流れを確認できるようになっている。また、学習の流れが漫画で解説されており、楽しく学習に入れるよう配慮されている。

（３）各学年に２カ所、役割演技や体験学習を通して議論する教材が設定されている。当事者としての疑似体験により、道徳の問題を自分のこととして考えることができる。

（４）本文書体には、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。一般の書体よりもやや太めの文字で、視認性が高くなっている。イラストや写真も適切に配置され、生徒が見やすい紙面構成になっている。

3　学習指導への配慮

（１）各教材に１カ所、「つぶやき」コーナーが設けられている。教材を学習しながら、思ったことや考えたことなどを、生徒が教科書に書き込むことができる。書き込んだ内容は、グループやクラスでの話し合いや、自己評価の際に活用できる。

（２）いじめ問題の対応と生命尊重に関しては、それぞれ３教材を通して１つのテーマを学習するユニット構成になっており、多面的・多角的な視点から物事を考える力を養うことができる。また、続けて同じテーマを学ぶことで、それぞれの課題について深く考えることができるよう配慮されている。

（３）話し合う際に巻末のホワイトボード用紙を活用し、専用のペンで書いたり消したりしながら、効果的に意見交換ができる。また、２色の割合で葛藤を表せる心情円があり、自分や友達の心情を可視化でき、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。

別　紙　１

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名
３８　光村図書	道徳　７２４ ８２４ ９２４	中学道徳 きみがいちばんひかるとき

○総合所見

□学習内容を自分との関わりで考えることができるように配慮されている。

資料ごとに「学びのテーマ」が明示され、考える観点として「道徳的な課題を明らかにする」「道徳的な価値についての自覚を深める」「テーマから考える」の３つが示され、考え議論しながら、道徳的諸価値の理解が促されるよう工夫されている。

□内容項目間の関連に考慮し、学びが有機的に結び付くように配慮されている。

学校生活の実態と、それに伴う生徒の成長を考慮して、年間の学習を４つの「学習のまとまり」に分けて構成し、テーマに沿って内容項目の関連を考え、多様な教材が適切に配列されている。

○具体的所見

1　教科の目標からの配慮

（１）資料には考える観点が複数示されており、登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、体験的な学習などを通して、自己を見つめられるように配慮されている。

（２）教材の巻末に自己評価の記録を残す「私の気づき」が設けられ、生徒自身が学んだことを振り返り、自分の変化や成長を自覚できるようになっている。

2　生徒の学習活動への配慮

（１）絵本や漫画形式の教材、データや複数の資料から考える教材、補助教材として小学校の定番教材など、多様な教材を示し、生徒が主体的に考えを深められるよう工夫されている。

（２）現代的な課題への対応として、「いじめ問題」や「情報モラル」の教材とコラムとを組み合わせて掲載するなど、様々な課題を発達段階に即して深く考えることができるように配慮されている。

（３）「見方を変えて」「つなげよう」が設けられ、「見方を変えて」では、生徒が多面的・多角的な見方や考え方ができるように考えられ、「つなげよう」では、他教科や学校生活との関連などを示し、学びが１時間の授業で終わることがないように考えられている。

（４）見やすい挿絵や写真、目に優しい色の用紙が使われ、生徒が集中して学習に臨めるように工夫されている。また、持ち運びに便利なＢ５版で作られ、扱いやすさが意識されている。

3　学習指導への配慮

（１）「私の気づき」や、学期ごとのまとまりの最後に「学びの記録」を設け、授業ごとの見返しと長期的な自分の変化や成長の振り返りを扱えるように配慮されている。

（２）全学年を通じていじめ問題に関連した教材とコラムが設定されており、生徒が問題をつかみ、考えを深められるよう配慮されている。

（３）各巻最終ページには、内容項目や現代的な課題等との関わり、他教科・領域等との関連が一覧となっているため、教材配列を変更することができるように配慮されている。

別　紙　１

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名
１１６　日文	道徳　７２５　７２６ ８２５　８２６ ９２５　９２６	中学道徳　あすを生きる 中学道徳　あすを生きる 道徳ノート

○総合所見

□生徒が道徳的諸価値を深く考えていけるように配慮されている。

道徳的諸価値が明示され、考え、議論するための発問や、幅広いテーマが工夫されている。教材のねらいに迫る発問に加え、自己を見つめ振り返る発問を設け、道徳的諸価値の理解が生徒自身の日常生活に生かせるように工夫されている。また、系統的・発展的な学習になるよう各学年にテーマを設定し、学校での諸活動に応じて教材が配列されている。

□生徒が学びを共有し、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。

問題解決的な学習やグループでの話し合いなど、様々な学び方が明示されている。生徒に身近な人物や各教科での活用を意識したコラムを取り入れたり、現代的な諸課題を取り入れたりすることで、物事を広い視野から考えられるように工夫されている。

○具体的所見

1　教科の目標からの配慮

（１）「考えてみよう」「自分にプラス１」の２段階構成の発問により、自分の生き方に誇りをもち、他人ごとではなく自分のこととして考えられるように工夫されている。

（２）生徒の発達段階や他の教育活動などとの関連を踏まえ、「いじめ」や「安全」などのテーマを設定して教材を配列してあり、学ぶことに必然性を持たせている。

2　生徒の学習活動への配慮

（１）教材の見出しに、学習のテーマがわかりやすく明示されており、見通しをもって学べるように工夫されている。また、別冊の道徳ノートを活用することで、学習を振り返り、成長を実感できるようになっている。

（２）深く楽しく考え合えるように、問題解決的な学習、体験的な学習の進め方を示し、活動をイメージしやすいように配慮されている。

（３）今日的課題に対応し、特に「いじめと向き合う」「安全に生きる」「情報モラル」については、重点的に教材を選定し、教材とコラムとを組み合わせて集中的に扱っている。

（４）写真や図版を大きく鮮明にするなど、ページ構成を工夫し、学習意欲を高められるように配慮されている。

3　学習指導への配慮

（１）学校生活、学校行事と関連させて計画的に考えられるよう、身近な教材や幅広いテーマが適切な時期に配列されている。

（２）１教材１ページの道徳ノートで、生徒が自分自身の学びの積み重ねを実感できるとともに、教師が生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を評価することができるよう配慮されている。

（３）道徳ノートはすべて同じ配列になっており使いやすい。また、自分の考えや友達の発言を記入するほか、「前向きに自分に生かす」記入欄を設けたり、家庭との連携も図れたりするような工夫がされている。

別　紙　２

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名
１１　学図	道徳　７２２ ８２２ ９２２	輝け　未来 中学校道徳

（所見）・発達段階に応じた教材配列で、重要な現代的課題を10個のアイコンで示し、生徒が見通しをもって友達と考えを深め、自己を振り返ることができるよう配慮されている。

・内容項目に沿った「心の扉」が設けられ、生徒の道徳的価値の理解が深まるように工夫されている。また、「学びに向かうために」の発問で意見交換や役割演技を促して、多面的な思考・判断・表現の場を設け、道徳的価値に迫る深い理解ができるよう配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名
１７　教出	道徳　７２３ ８２３ ９２３	とびだそう未来へ 中学道徳

（所見）・中心となる教材を1時間に1つ扱い、コラム等を極力つけずに学習内容が焦点化されている。また、多様な形態をした様々な内容を扱うよう教材が選定されている。

・教材を通してどんなことを考えていくのか意識付ける導入文が設けられており、「学びの道しるべ」では、教材を理解し、自分に引きつけ、道徳的価値に迫る3つの問いが示され、自己を見つめて、道徳的諸価値の理解を深めることができるよう配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名
２２４　学研	道徳　７２７ ８２７ ９２７	中学生の道徳 明日への扉

（所見）・A4版のゆとりの紙面で、全ての教材が右頁から始まり、読みやすく工夫されている

・教材中に主題名を明示せず、特定の価値観を押し付けないように配慮されている。また、発問が端的で、生徒が自ら問題意識をもって道徳的価値を自覚していくよう配慮されている。

・「深めよう」「クローズアップ」「クローズアップ プラス」の特設ページが設けられ、体験的な学習やグループでの話し合い、自分の見つめ直し等、多様な学習指導に配慮されている。

別　紙　２

その他の教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名
２３２　廣あかつき	道徳　７２８　７２９ ８２８　８２９ ９２８　９２９	中学生の道徳　中学生の道徳ノート 自分を見つめる１ 自分を考える２ 自分をのばす３

（所見）・全ての教材で「学習の手がかり」として本時のめあてが示され、様々な視点からの問いかけにより、生徒が主体的に取り組み、多面的に考え議論するよう配慮されている。

・別冊の道徳ノートには、発達段階に応じた道徳的諸価値の理解が深まるよう解説文が掲載され、記述欄に生徒自身の考えを書くことで、生徒も教師も成長の過程を捉えられるように工夫されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名
２３３　日科	道徳　７３０ ８３０ ９３０	道徳　中学校１　生き方から学ぶ 道徳　中学校２　生き方を見つめる 道徳　中学校３　生き方を創造する

（所見）・道徳教育の系統性と体系化を考慮し、各校の実情に応じて年間指導計画が立てられるよう学習指導要領の内容項目順に教材が配列され、学年間と他教科・領域とがつながるよう配慮されている。

・「考え、話し合ってみよう」により、生徒が友達と考え、議論できるよう工夫されている。また、「そして、深めよう」により、道徳的価値を自分に引き寄せて考えられるよう配慮されている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名